

第5回自然観察会「小田原の地形や地質を調べよう」 報告

- 1 日 時 令和4年10月8日(土) 8時15分～12時15分
- 2 場 所 下曾我駅～三島神社～宗我神社～曾我山の中腹～梅の里センター
- 3 講 師 谷 圭司 (千代中学校教諭) 村岡 俊明 (国府津中学校総括教諭)
初瀬川孝夫 (酒匂中学校教頭) 西垣 亮 (白山中学校教諭)
米山 有美 (自然観察指導員) ー敬称略ー
- 4 内 容 光海地区の低地から国府津ー松田断層の断層崖に移動することで土地の高低の変化を体感し、曾我山の中腹から小田原市及び周辺の地形を概観して土地の成り立ちを推察した。また、三島神社や宗我神社、断層崖に作られた農道で見られる植物や野鳥を観察した。
- 5 日 程 8時15分 下曾我駅にて講師・職員による打ち合わせ
8時40分 参加者集合・受付 あいさつ・講師紹介・諸注意
8時55分 下曾我駅南側の光海地区で土地の様子を観察
9時15分～ 9時45分 三島神社で観察
9時55分～10時15分 宗我神社で観察
10時50分～11時20分 曾我山の中腹で小田原市及び周辺の地形を観察
11時45分～11時55分 梅の里センターで感想カードの記入
11時55分 参加者解散
11時55分～12時15分 講師・職員による反省

6 活動のまとめ

①下曾我駅南側の光海地区

国府津ー松田断層の活動と過去に起きた地震との関連性を踏まえ、下曾我地区の大地の成り立ちについて谷講師から説明がありました。断層の境界については酒匂川が運んできた土砂に埋まってしまい、確認することは難しいが、下曾我駅北側に比べ低地の光海地区からスタートし、断層が崩れた土砂で形成された、なだらかに高くなる扇状地のような地形、急激に高くなる断層崖を歩くことで土地の高さが変化する様子を体感してほしいという話がなされました。三島神社に移動する途中、路肩に生えているエノコログサなどの植物やアオサギや群れをなして移動するムクドリなどの野鳥を観察することができました。

②三島神社

関東大震災の震災復興碑に記載されている内容をもとに下曾我地区の震災による被害状況を谷講師が説明しました。また、神奈川県温泉地学研究所が設置した小田原地下水位観測施設が神社の敷地内にあり、光海地区の地下水の状況を観測し洪水などの災害対策に役立っているという話がありました。

神社の敷地内では、防虫剤として活用されることがあるクスノキや小田原市の天然記念物に指定されているケヤキを観察しました。ケヤキの幹の周りに手を広げて並び、樹木の太さを体感しました。また、神社の脇を流れている川でカワセミを観察することができました。

③宗我神社 (旧曾我郷の総鎮守)

参道の入り口に青銅の鳥居が建立されています。かつては岩石で作られていましたが、完成した翌日に関東大震災に見舞われ崩れてしまったそうです。鳥居に使われていた岩石の一部が神社の境内でベンチとして使われていました。

ご神木と思われるケヤキにはしめ縄がかけられていました。冬でも緑の葉をつけていることから、海外ではクリスマスに重用されるヤドリギがケヤキに寄生していました。また、線香のつなぎや家具として活用され、海水に含まれる塩分に強いことから海岸線に多く生えているタブノキを観察しました。さらに、1分間、周囲の音に耳を傾ける体験を行いました。何種類もの鳥がさえずる声、風や川を流れる水の音などの自然に由来する音や車が移動する音や工事の音などの人工的な音が聞こえ、一瞬、時が止まったように感じました。

④断層崖の農道

米山講師が熟れたカラスウリを割ると、中から「打ち出の小槌」のような形をした種子が出てきました。葉が硬いアラカシ、果実が染料に使われ、枝葉をちぎると独特のおいがるクサギ、果実に虫が入ると色づくノブドウなどの植物を観察することができました。

⑤曾我山の中腹

前日までの雨に空気が洗われ、伊豆七島の大島や初島はもちろん、利島や新島まで肉眼で確認することができました。自分たちが立っている断層崖と箱根連山に囲まれた平野部に小田原の市街が発達している様子がよくわかりました。谷講師が小田原の大地の成り立ちについて図や立体モデルを活用してわかりやすく説明しました。小田原は地学的に特異な地域であり、地震とは切っても切れない縁があるため、日ごろから防災や減災について考え行動することが大切であるという話がありました。

観察できた主な植物

エノコログサ、クスノキ、ケヤキ、ヤドリギ、タブノキ、カラスウリ、アラカシ、クサギ、ノブドウ、スダジイ、アキノエノコログサ、セイタカアワダチソウ、アオツツラフジ、クズ、コセンダングサ、ヤシヤブシ、カナムグラ、ヤブカラシ、アカメガシワ、コナラ

観察できた主な鳥類

			2022. 10. 8
1	コウノトリ目	サギ科	アオサギ
2	ハト目	ハト科	キジバト
3	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ
4	スズメ目	セキレイ科	ハクセキレイ
5		ヒヨドリ科	ヒヨドリ
6		モズ科	モズ
7		ヒタキ科ツグミ亜科	イソヒヨドリ
8		シジュウカラ科	ヤマガラ
9		メジロ科	メジロ
10		ハタオリドリ科	スズメ
11		ムクドリ科	ムクドリ
12		カラス科	ハシボソガラス
13			ハシブトガラス
14	外来種	チメドリ科	ガビチョウ

13科14種類（酒匂中学校教頭 初瀬川孝夫先生による）

①下曾我駅南側の光海地区～大地の成り立ちの説明



①下曾我駅南側の光海地区～路肩の植物



②三島神社～震災復興碑をもとに説明



②三島神社～幹の周りで手を広げて



③宗我神社～ヤドリギの葉や実を探す



③宗我神社～タブノキについて説明



⑤曾我山の中腹～地形を概観



7 参加者の感想

4年生

- ・地震の歴史がわかった。植物がたくさんあって名前もわかってよかった。ヤドリギのことで「つきさす」という言葉がでたので、すこしびっくりした。とりいがたくさんあってびっくりした。

5年生

- ・上から下におりてきたとき、山を見たら、「あそこにのぼった」とたっせいかんをかんじました。

6年生

- ・つかれたけれど楽しかったです。「じしんは怖い」だけで終わらせていたんですが、今回参加して「じしんは日本に住んでいる以上はなくせない物だからちゃんと防災訓練や備えることが大事でじしんは怖いだけじゃ終わらしていちゃだめ」と思いました。

保護者

- ・普段意識していない段差の意味を体感という事で確認も出来て大変良かったです。又、道中に鳥や植物についても説明頂き、自然観察をまんきつ出来ました。
- ・楽しかったです。断層や鳥や自然のことをたくさん教えていただき、初めて聞くことや、名前しか聞いたことがなかった鳥などをみれて勉強になりました。北米プレートの上に住んでいることを教えていただいたのがおもしろかったです。
- ・小田原を俯瞰して観ることが初めてだったので、とてもよい体験になりました。地形のお話だけでなく草木・鳥・昆虫のお話や下曾我の歴史もお伺いできとても興味深かったです。プレートがなぜ動くのか？地球の中と地表とのつながりも知りたくなりました。日頃、子供に地震や津波の話をしてはいますが、地形という点からも興味を持ってもらえていい機会となりました。ありがとうございました。